



ソウルの都市農業

ソウル特別市は、1,000万人が暮らす人口密度の高い巨大都市であり、他の世界の都市と同様に社会的、経済的、環境的に様々な問題を抱えています。

これらの様々な問題は、都市および市民の暮らしの質を落とす原因となっており、今後の都市の成長や発展に支障をきたす可能性があります。ソウル特別市は、このような都市における発展の阻害要因を、都市農業、食料政策、地方共生政策などを通じて解決するために様々な施策を推進しています。

事例紹介

①ソウルの一般的な農業に対する政策支援の概況

ソウルの農地は、都市の居住地の開発などにより急速に減少しています。しかし、生活水準の高まりによって、人々は快適な生活環境を求めるようになり、都市計画上、緑地地域として農地の保全を求める市民が徐々に増えていることも事実です。ソウルは都市の要件上、市民が農業活動を通じて得られる余暇、体験、教育的意義にも政策の重点を置いています。



韓国政府と地方自治体は、未来の食料資源の確保や農業競争力の向上のため、農業の経営環境を改善し、競争力を高めるために様々な努力を行っていますが、全般的な農業経営環境を大きく好転させることはできていないのが現状です。これにはFTA協定が1つの要因になっていると考えられます。

ソウルの商業的農業の現況は、農地面積が1,084haでソウルの総面積の1.79%、農業人口は約3,410戸9,370人でソウルの人口の0.09%であり、いずれも低い水準です。ソウルの主要農産物は、東部のハウス栽培野菜、南部の花弁類、西部の米、北部では梨が生産されており、生産量は約6,910トンになります。また、ソウルは一般的な農業の支援政策として、土壌改良剤の供給、有機肥料の支援などの農業生産改善事業を行っています。ほかに、農家の所得保障を目的とした直接支払事業、災害保険事業、環境配慮型農業や稲作のための補助事業など、計11事業を行っています。

②ソウルの地方共生政策

ソウルは、地方と共に豊かに暮らすことができる好循環型の未来を標榜しています。人的、物的、情報の交流を通じて、地方と都市の共生を目指す政策を推進しています。地方共生事業は、人的交流として帰農帰村支援事業、文化芸術交流事業、青年農業者ソウル活動支援事業などを行っています。また、情報交換のための自治分権大学ソウルキャンパス事業や、ソウル政策研修事業、流通促進のため地方の農産物などが購入できる店舗の運営を行っています。



③ソウルの食料政策

ソウルは持続可能な食料都市をビジョンとした食料政策を策定、施行しています。健康、保障、共生、安全という中核となる指標を設け、健康な食料、食料安全保障など、4つの分野の事業を推進しています。





ソン・インボン

Mr. Imbong Song

ソウル特別市 経済政策室 都市農業課長

Director of Urban Agriculture Division, Economic Policy Office,
Seoul Metropolitan Government

プロフィール

ソン・インボン氏は、1989年にソウル特別市に採用され、現在まで30年あまりソウルの農業行政に従事してきました。人口1,000万の巨大都市ソウルにおいて、農業は徐々に消滅しつつある産業分野でしたが、2011年6月の「ソウル特別市都市農業元年宣言」以降、ソウルの農業は、「都市農業」という新たな名を冠して持続可能な都市政策のトレンド事業として注目され、韓国のすべての都市に広まりました。ソン氏は、その中心人物の一人です。また、ソン氏は、ソウル特別市に都市農業課を誕生させるために取り組み、初の都市農業課長となった方でもあります。

事例紹介

①ソウル特別市の一般的な農業の現状

ソウル特別市は、面積605.23km²、人口1,000万人の大都市です。行政区域は25の自治区と424の洞（区の下の行政区画）地域から構成されています。農地面積は約1,084ha、農業者世帯数は3,410戸にのびますが、全世帯数の0.09%にも及びません。主要農産物は、東部のハウス栽培野菜、南部の花卉類、西部の米、北部では梨が生産されており、生産量は約6,910トンになります。現在、ソウル特別市の農地は都市の住宅地問題解決のための開発等によって急速に減少しています。しかし、都市計画上、緑地地域としての機能のために保全を望む市民が徐々に増えています。



2017年第6回ソウル都市農業EXPOでの青麦畑造成

②都市農業政策事業の推進過程とビジョン

韓国では、都市農業を法律で「都市の土地、建築物などの生活空間を活用して農作物、樹木、草花を育てたり、昆虫を飼育すること」と定義しています。ソウル特別市は、変化し疲弊する都市環境をどのように救うことができるか考え、2011年6月に「ソウル特別市都市農業元年宣言」を発表し、都市農業を本格的に行政の事業として推進してきました。都市農業の社会的機能、経済的機能、環境的機能といった多面的価値は、韓国の時代的状況とあいまって必須の政策事業として韓国のすべての都市へ急速に拡大していきました。ソウル特別市にお



アイデア家庭菜園コンテスト

ける都市農業に関わる市民の活動人口は、2011年には4万5千人だったものが、現在63万3千人へと約14倍に増加しましたが、それでも市民の6%に過ぎません。都市農業の持続的発展のためには、都市農業の産業化と、市民が日常生活の中で活動しやすくするためにはどうすればよいかという課題を解決していく必要があります。